

平成27年10月5日

各位

株式会社紀陽銀行
きのくに信用金庫
新宮信用金庫
紀陽リース・キャピタル株式会社

【地方創生】「わかやま地域活性化ファンド」第1号投資先の決定について

株式会社紀陽銀行(頭取:松岡靖之)、きのくに信用金庫(理事長:田谷節朗)、新宮信用金庫(理事長:浦木睦雄)、及び紀陽リース・キャピタル株式会社(社長:松下嘉夫)が株式会社地域経済活性化支援機構と連携して組成した「わかやま地域活性化投資事業有限責任組合(愛称:わかやま地域活性化ファンド)」は、下記のとおり「加太まちづくり株式会社」に対し、第1号案件として投資することを決定いたしました。

当ファンドでは、今後とも、地域活性化に取り組む事業体への出資および人的支援を通じて、政府が推し進める「地方創生」における、地域経済の活性化や雇用創出に繋がる取組を積極的に支援していきます。

記

【出資概要】

出資決定額	490万円
出資形態	普通株式引受(第三者割当増資)
出資予定日	平成27年10月16日
出資先名	加太まちづくり株式会社
代表者	代表取締役 尾家 賢司
所在地	和歌山県和歌山市加太 1067 番地
設立日	平成27年7月1日
資本金	1,000万円 ※本件出資後(以下「株主構成」も同様)
株主構成	和歌山市加太地区連合自治会 わかやま地域活性化ファンド
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・ 出資者でもある連合自治会や、観光協会、漁協と連携し、参画する地元住民を中心に地域資源を活用した収益事業に取り組むことで、持続可能な地域経済の構築を行う。・ 天然砂浜の海水浴場の運営のほか、加太ブランドを積極的に外部発信し、鯛を中心とした特産品の販売を行うことで、知名度の向上と漁業所得の向上による加太地域の活性化に貢献する。・ 国の推進する「地方創生」のモデルとなるような地域づくりを行う。

【わかやま地域活性化ファンドの概要】

名称	わかやま地域活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	10億円
組合員構成	(株)紀陽銀行 きのくに信用金庫 新宮信用金庫 紀陽リース・キャピタル(株) REVIC キャピタル(株)
設立日	平成26年1月24日

【出資の目的】

今回の出資は、和歌山県内でも有数の地域資源を有する和歌山市加太地区で設立された「加太まちづくり株式会社」が地域資源を有効活用した持続可能な地域づくりを行うことへの資金的、人的支援を目的とします。

同地区においては和歌山市加太地区連合自治会・加太観光協会・加太漁業協同組合の三者が中心となって「加太地域活性化協議会」が組織されており、地域の疲弊に危機感を持つ住民が自主的に参画、地域活性化・まちづくりに関わる様々な取り組みを続けています。今般、その取り組みをより具体的・計画的に行っていく目的で設立されたのが「加太まちづくり株式会社」です。

当ファンドからの出資により当社の経営基盤の強化が見込まれることに加え、当行及びファンドに参画する各社のノウハウやネットワークを結集した人的支援を行うことで、事業拡大と加太地域の更なる活性化に取組みます。

以上